

## 東京都が発行している普及啓発のパンフレット・冊子等の活用・広報について

支援拠点機関の、東京都心身障害者福祉センターでは、高次脳機能障害の普及啓発として、以下の冊子やリーフレットを発行し、普及啓発に活用している。

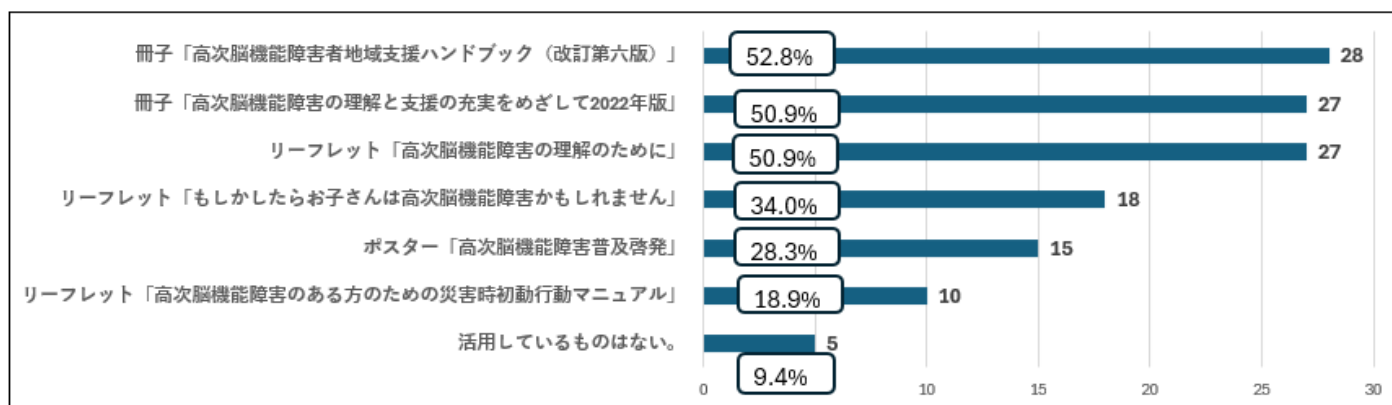
- ① 冊子「高次脳機能障害者地域支援ハンドブック（改訂第六版）」
- ② 冊子「高次脳機能障害の理解と支援の充実をめざして2025年版」
- ③ リーフレット「高次脳機能障害の理解のために」
- ④ リーフレット「もしかしたらお子さんは高次脳機能障害かもしれません」
- ⑤ リーフレット「高次脳機能障害のある方のための災害時初動行動マニュアル」
- ⑥ ポスター「高次脳機能障害普及啓発」

配布先は、作成物によって異なるが、行政（障害福祉課、保健所、保健センター、子ども家庭支援センター等）、リハビリテーションの充実事業医療機関、区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施事業所、等となっている。

令和6年12月の支援員連絡会開催に伴う、出欠入力の際に、上記冊子等の活用について調査した。（複数回答あり）

※調査時点では「高次脳機能障害の理解と支援の充実をめざして」は2022年版となっている。2025年版は令和7年3月に発行している。

結果は以下のとおりである。（都内の53市区町村（島しょ部を除く））



※「活用しているものはない5」のうち、圏域発行の冊子を活用が2、自地域から発行のリーフレットを活用が1、今後活用していきたいが1となっている。

〇23区、26市、4町村の集計は以下となっている。

冊子、リーフレット	23区		26市		4町村	
	使用している自治体数	23区での割合	使用している自治体数	26市での割合	使用している自治体数	4市での割合
冊子「高次脳機能障害者地域支援ハンドブック（改訂第六版）」	14	60.9%	14	53.8%	2	50.0%
冊子「高次脳機能障害の理解と支援の充実をめざして2022年版」	16	69.6%	10	35.5%	1	25.0%
リーフレット「高次脳機能障害の理解のために」	14	60.9%	13	50.0%		
リーフレット「もしかしたらお子さんは高次脳機能障害かもしれません」	10	43.5%	7	26.9%		
ポスター「高次脳機能障害普及啓発」	10	43.5%	4	15.4%		
リーフレット「高次脳機能障害のある方のための災害時初動行動マニュアル」	6	26.1%	4	15.4%		
活用しているものはない	1	4.3%	3	11.5%	1	25.0%

□23 区と 26 市の集計も行った結果、23 区のほうが「ハンドブック」「充実をめざして」「理解のために」が 60%を超えており、活用されていることがわかったが、全体を通してと 23 区と 26 市とでは大きな差はなかった。

□活用方法は

「ハンドブック」：職員の学習用（知識向上のため）、ケースワーク、相談の際の資料

「充実をめざして」：相談対応時（紹介を含む）、職員が連携する支援機関を探るとき使用、相談の際に症状等への説明に活用

「理解のために」：窓口で配布、地域のイベントや御別相談時に活用、当事者や家族に障害の説明時に活用と配布となっていた。

□この結果から「ハンドブック」「充実をめざして」「理解のために」が活用されていることがわかった。

令和 7 年 3 月に発行した支援と充実をめざして 2025 年版を、地域で開催される関係機関連絡会、圏域連絡会等で配布し、東京都の高次脳機能障害の支援普及と事業等の説明含め、冊子活用を広報していく予定である。

■圏域や、各地域でリーフレットも作成されている現状もある。支援拠点機関として発行しているもので多く活用されている冊子やリーフレットでも、53 市区町村の半数の地域となっている。ホームページでも上記冊子、リーフレットは掲載しているが、普及啓発として活用していただくために配布先や、広報の方法等について、皆様よりご助言をいただきたい。

**ポスター**

高次脳機能障害の  
理解と支援の充実をめざして

こんな方はいませんか？  
病気をしてから、事故にあってから

- 記憶障害
  - 病名やケガの前のことはよく覚えていますが、新しいできごとを覚えられない
- 注意障害
  - 集中力が続かない
  - 気が散りやすい
  - 複数のことを同時にできない
- 遂行機能障害
  - 計画を立てられない
  - 段取りよく、家事や仕事を進められない
- 社会的行動障害
  - 感情や欲求のコントロールができない
  - 些細なことで怒りやすい
  - 意欲がわかない
- 半側空間無視
  - 片側の空間にある人や物、文章を見落とす
- 失語症
  - 話を理解できない
  - 話そうとしても言葉が出てこない
  - 文字を読めない、書けない

もしかしら高次脳機能障害 かもしれません

上記の症状でお困りのことがありましたらお電話ください。

高次脳機能障害専用電話相談  
月～金 9時～12時 13時～16時（祝日および年末年始を除く）  
電話 03-3235-2955 東京都心身障害者福祉センター

東京都

**地域支援ハンドブック**

高次脳機能障害者  
地域支援ハンドブック  
(改訂第六版)

東京都

理解と支援の充実をめざして

高次脳機能障害の  
理解と支援の充実をめざして  
2025 年版

こんな方はいませんか？  
病気をしてから、事故にあってから

- 記憶障害
  - 病名やケガの前のことはよく覚えていますが、新しいできごとを覚えられない
- 注意障害
  - 集中力が続かない
  - 気が散りやすい
  - 複数のことを同時にできない
- 遂行機能障害
  - 計画を立てられない
  - 段取りよく、家事や仕事を進められない
- 社会的行動障害
  - 感情や欲求のコントロールができない
  - 些細なことで怒りやすい
  - 意欲がわかない
- 半側空間無視
  - 片側の空間にある人や物、文章を見落とす
- 失語症
  - 話を理解できない
  - 話そうとしても言葉が出てこない
  - 文字を読めない、書けない

もしかしら高次脳機能障害 かもしれません

上記の症状でお困りのことがありましたら、次へお電話ください。

高次脳機能障害専用電話相談  
東京都心身障害者福祉センター  
電話 03-3235-2955  
月～金 9時～12時 13時～16時（祝日および年末年始を除く）

東京都

**理解のために パンフレット**

高次脳機能障害

脳損傷後の後遺症  
外見からわかりにくい、一人ひとり症状が違う

- 記憶障害
  - 病名やケガの前のことはよく覚えていますが、新しいできごとを覚えられない
- 注意障害
  - 集中力が続かない
  - 気が散りやすい
  - 複数のことを同時にできない
- 遂行機能障害
  - 計画を立てられない
  - 段取りよく、家事や仕事を進められない
- 社会的行動障害
  - 感情や欲求のコントロールができない
  - 些細なことで怒りやすい
  - 意欲がわかない
- 半側空間無視
  - 片側の空間にある人や物、文章を見落とす
- 失語症
  - 話を理解できない
  - 話そうとしても言葉が出てこない
  - 文字を読めない、書けない

東京都

**小児リーフレット**

頭の病気（急性脳症・低酸素脳症・脳腫瘍など）  
けが（交通事故・転落・脳しんとうなど）  
による後遺症

「あの日から変わってしまった、うちの子は・・・」

もしかしらお子さんは  
高次脳機能障害  
かもしれません

東京都

**災害時初動行動マニュアル**

防災のことを考えてみませんか？  
高次脳機能障害のある方のための  
災害時初動行動マニュアル

このマニュアルは、高次脳機能障害のある方とご家族が、大規模な災害発生時に適切に行動し、必要な支援を得られるように、大切なことをまとめたものです。災害発生してどんな準備をし、災害発生時のどのような行動をしたらいいのか、このマニュアルを活用し、できることから準備を進めてください。

大規模な災害が起こると高次脳機能障害のある方は  
どんなことに困るのでしょうか。

- 高次脳機能障害は外見からは分かりにくいので、避難する時や避難生活で、周囲の人の理解や支援を得にくいことがあります。
- ご家族とは異なる状況の中で、必要な情報をまとめてよく判断し、行動に移すことが難しくなります。
- 避難しているところでは、人や物にぶつかったり、避難所への目印なども見失ってしまうことがあります。
- 自分の知りたいたいことを思い通りに、周囲の人に適切に伝えられないことがあります。
- 避難所での生活内容が十分に聞き取れない、聞き取れても記憶できなかったり、食事の準備などが必要とされることがあります。
- 避難所では、大勢の人がいるので、被害や周囲の様子に気づき、聞き取れないこともあります。いつもよりも、さらに集中する必要があります。

東京都